

スクラム



日光市立今市第三小学校 第6学年 学年通信『第24号』 平成26年2月18日

時がたつのが早くて…

月日のたつのが、とても早く感じます。この前3学期が始まったと思ったのですが、登校する日数が卒業まで30日を切っていました。

残り少ない小学校生活ですが、これまで学んだことを自分なりに整理し、消化し、次の中学校へのステップの基礎としなければなりません。全ての人に平等に与えられた時間を有効に使い「あのとき勉強をしておけばよかった！」という後悔を残さないようにしましょう。

正しさは見えない

間違ったことや誤りは知ることができますが、正しさは目に見えないものです。分かりにくいものです。何もなくて当たり前。そういうものです。

例えば、ガラスを割ってしまう。友達をたたいたり、傷つけたりしてしまう。ごみを捨ててしまう。机やロッカーの整頓を忘れてしまう。雑巾がばらばらになっている。こういうことはすぐに分かります。目につきます。

しかし、ガラスが割れていない。友達と仲良くしている（ように見える）。ごみがない。机やロッカーがきれいに整っている。雑巾が整然とかけられている。こうなると、何があったのか分からなくなります。

つまり、ガラスが割れていないということやごみが落ちていないということが、最初からそうであったのか、それとも誰かの努力でそうになっていたのか、分からないということです。ガラスが割れていないことや、雑巾がきちんとかけられていることは、何もなくてもあり得ます。しかし、教室の中で悪ふざけをしたかっただけやめたとか、乱雑になっている雑巾を見て直した、とかの行為がなされていても、結果的には初めから何もなかったことと同じように見えます。

しかしながら、この二つの現象には大きな違いがあります。後者の現象には、やった人の正しい心が入っているのです。「見えざる真実」という最も崇高な心が入っているのです。

お知らせ

先日プリントお知らせしたとおり、下記の日程で「性教育講演会」を行います。保護者の方も自由参加ですので、是非お越しください。

期 日 : 2月21日(金) 第5校時 14:05~14:50

場 所 : イングリッシュ・ルーム (北校舎3階)

中学校へ向けて~その1

中学進学へ向け、それほど子どもたちの中には不安や心配事は多くないようです。むしろ楽しみにしている子の方が多いようです。しかし、中学校進学を契機とする不登校や問題行動発生の件数は、小学校6年生時の8倍にも及ぶことも事実です。

そこで、中学生として必要な力を今のうちから身に付けさせるよう、意図的に取り組んでいく必要があります。

〔生活面〕

1 守ろうとする力

制服などの服装にかかわる規則があります。規範意識がないといけません。流させずに規則を守れる自分が必要です。

2 自律できる力

部活動なども始まり、忙しい生活になります。1日24時間はだれでも同じです。有効に時間を使える自分が必要です。

3 自立できる力

先生がいつもいるわけではありません。(教科担任制になるため)目の前で起きていることは、自力で何とかしなくてはなりません。問題を解決できる自分が必要です。

4 内面を大切にする力

物で飾ろうとする意識で、見栄ばかりを気にしては疲れてしまいます。汗を流し、心を磨く自分が必要です。

5 高め合える力

なれ合いの相手は親友にはなれません。相手に注意できるのが親友です。いけないことを止め合える人間関係の中にいる自分が必要です。